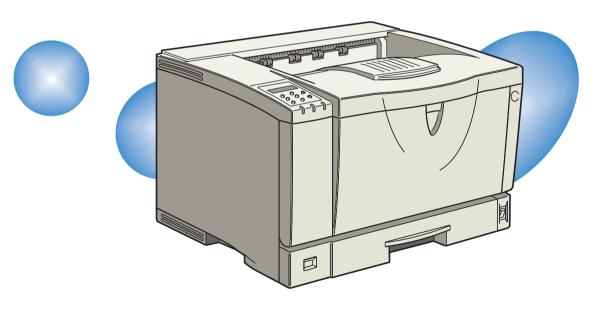
SPEEDIA

CP-E8000

ハードウェアマニュアル

消耗品の交換、用紙の補給、オプションの取り付け、トラブルの解決方法等、プリンタの機械的な操作方法について記載されています。

T-609P-2E
MA0401-F　２００４年１月２０日　第６版発行

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA CP-E8000シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」は、SPEEDIA CP-E8000シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

本書の適用機種：CP-E8000

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠ **警告**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあります。

この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与えることがあります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 警告

アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

延長コードの使用は避けてください。

電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

プリンタは電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。プリンタ内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。プリンタ内部の点検・調整・修理はお買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンターに依頼してください。

このプリンタを改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

⚠ 警告

万一、煙りが出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。プリンタが故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
万一、金属、水、液体などの異物がプリンタ内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションに連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

このプリンタの上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。カシオは、地球環境保護のため、使用済みのドラムトナーセットを無料で回収しています。詳しくはオプションのドラムトナーセットに同梱の案内書をご覧ください。やむを得ず、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従ってください。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

プリンタは消耗品やオプション類を取り外しても約16kgあります。
プリンタを移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
長距離を移動する時は、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンターに相談してください。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

オプションの取り付け、取り外しは、プリンタの電源スイッチが切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行なってください。やけどの原因になります。

定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンタ本体の電源を切ってから約１時間待ち、定着ユニットが常温になってから行なってください。やけどの原因になります。

電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物（強燃性スプレー等）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着器の内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタ本体の故障の原因となる場合があります。プリンタ本来の性能を十分発揮し、快適な出力環境でご使用いただくために、カシオ純正の消耗品をご使用ください。

ご 注 意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事を禁止します。
(2) 本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載される事があります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/
(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用した事等に起因して生じた障害および、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。
(8) 「ESC/P」、「ESC/Page』は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
(9) 「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
(10) 本プリンタにはHi/fn ™製LZS®圧縮を内蔵しています。LZS®はHi/fn Inc.の商標であり、米国特許(No.4701745, 5016009, 5126739, 5146221, 5414425, 5463390, 5506580)に関してライセンスされています。
(11) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

諸注意事項

本書の適用機種

本書は以下の製品を安全に正しくお使いいただくための取扱説明書です。製品をご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

● SPEEDIA CP-E8000

保証について

プリンタ本体に同梱の「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録手続きを行ない、保証書をお送りいたします。

☞ **付録7. 保証について（97ページ）**

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

高調波対策について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

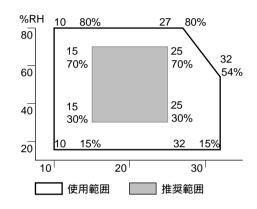
電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
またオプションを使用した場合の適合レベルは以下の通りです。
LAN I/Fボード(CP-NWIO8TN, CP-NW100L, CP-NW100SP)…クラスA　正規
上記以外…クラスB　正規
なお、オプションのLAN I/Fボード（CP-NWIO8TN, CP-NW100L, CP-NW100SP）を使用した場合、この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

国際エネルギースターについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

使用上のお願い

- 温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、プリンタ内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、１時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンタ内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- フロントカバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- 印刷中にフロントカバーやマルチペーパフィーダを開けたり、プリンタを移動したりしないでください。
- 印刷中はペーパカセットを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙が詰まります。
- クリップなどの異物がプリンタの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンタの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は、月間印刷ページ数が１０,０００ページ以下（Ａ４の場合）、１日の通電時間の合計が８時間程度の条件で、使用年数を５年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が１０,０００ページを超えていたり、１日に合計８時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が６００,０００ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙詰まり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Readerの「 前の画面」ボタンを押します。）

[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部のキーの名称を示します。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。
このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。
本製品は、同プログラムに挙げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

省電力モードについて

- 本機には、「省電力モード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省電力モードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
- 省電力モードへの移行時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、リファレンスマニュアル「(例) 省電力モードに入るまでの時間を２０分に設定する」（１１ページ)を参照してください。
- 機能の仕様

低電力機能	消費電力	２０W以下
	省電力モードへの移行時間	３０分

目次

特長

多彩な後処理機能のA3対応デスクトップレーザープリンタ

◆ クラス最速ファーストプリント6.5秒

デスクトップのプリンタとしては最速のファーストプリント6.5秒[*1]を実現しました。最も印刷時間のかかる1枚目から高速に印刷できます。

[*1] データ処理終了から排紙完了までの時間（A4横印刷時）

◆ リアル1,200dpiの高画質

リアル1,200dpiの高画質に対応しています。600dpi時もスムージングを行なうことによって2,400dpi相当×600dpi相当の表現が可能です。

◆ 両面印刷、シフトソートなど多彩な後処理機能に対応

- 両面印刷ユニット（オプション）装着により、自動両面印刷が可能
- シフトトレイ（オプション）装着により、ジョブ単位に用紙をずらして印刷することが可能（シフトソート）
  標準のトレイ（250枚）とシフトトレイ（250枚）で最大500枚の排紙が可能
- 4ビンプリントトレイ（オプション）装着により、個人あるいは部単位で排紙先を指定することで、印刷ジョブの混在を防げます。
  標準のトレイ（250枚）と4ビンプリントトレイ（各ビン50枚×4）によって、最大450枚の排紙が可能

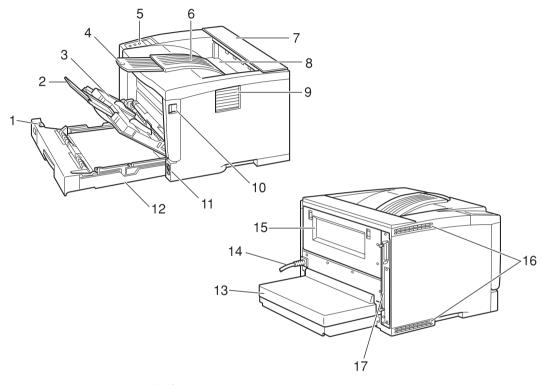
補足

- ■ シフトソートは、シフトトレイの他に、ハードディスクユニット(オプション)またはSDRAMモジュール(オプション)が必要です。
- ■ シフトトレイと4ビンプリントトレイを同時に取り付けることはできません。

◆ 60万枚の高耐久力

耐久力もデスクトッププリンタとしては最高レベル。長くその性能を維持します。

1. 各部の名称とはたらき

全体

1.　用紙サイズダイヤル
給紙トレイにセットした用紙のサイズと方向に合わせます。

2.　延長トレイ
A 4 縦より長い用紙をマルチペーパフィーダにセットするときに延ばします。

3.　マルチペーパフィーダ
普通紙の他に、厚紙、OHP フィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大１００枚までセットできます。

4.　延長排紙トレイ
長い用紙に印刷するときに、印刷された用紙が落下しないように引き出します。

5.　操作パネル
キーを使用してプリンタの設定を変更したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

参照
詳しくは、「リファレンスマニュアル」を参照してください。

6.　メイン排紙トレイ
印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

7.　上カバー
シフトトレイや４ビンプリントトレイを取り付けるときに取り外します。

8.　排紙カバー

紙詰まりの処置をするときに開けます。

9.　排気口

プリンタ内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。
物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。
プリンタ内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

10. フロントカバーオープンボタン

ボタンを押すとロックが外れ、フロントカバーが開きます。

11. 電源スイッチ

プリンタの電源を ON/OFF します。

12. 本体ペーパカセット［CPF1］

用紙をセットします。普通紙で最大250枚までセットできます。

補足

- 操作パネルやプリンタドライバの画面では［CPF1］として表示されます。
- オプションの拡張ペーパフィーダは［CPF2］、［CPF3］として表示されます（2段増設時）。

13. ペーパカセットカバー

ペーパカセットを延長しているときに取り付けます。

14. 電源ケーブル

プリンタ本体側の差し込み口に電源コードの元を差し込み、反対側の電源プラグをコンセントに差し込みます。

15. リアカバー

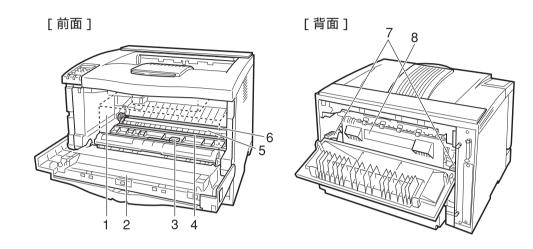
定着ユニットを交換するときや、両面印刷ユニットを取り付けるときに取り外します。

16. 給気口

プリンタ内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして給気口をふさがないでください。プリンタ内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

17. コントローラーボード

増設メモリモジュールやハードディスクなどを取り付けるときに引き抜きます。
パラレルインターフェースケーブルやイーサネットケーブル（オプションのLANボード使用時）を各コネクターに接続します。

内部

1. ドラムトナーセット

トナーと感光体が一体化しているカートリッジです。トナー交換のメッセージが表示されたら交換します。

2. フロントカバー

ドラムトナーセットやメンテナンス部品の交換、紙詰まりの処置をするときに開けます。

3. ガイド板

紙詰まりの処置をするときに開けます。

4. レジストローラー

用紙を送るための金属製のローラーです。ドラムトナーセットを交換するときなどに周辺の紙粉を清掃します。

5. 転写ローラーカバー

転写ローラーを交換するときに開けます。

6. 転写ローラー

トナーを用紙に転写するローラーです。 印刷枚数により定期的な交換が必要な部品です。

☞「5.8 定期交換部品について」（65 ページ）

7. 定着ユニット固定レバー

定着ユニットを取り外すときに、左右のレバーを上げます。

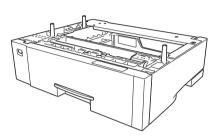
8. 定着ユニット

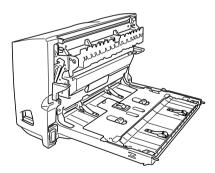
トナーを用紙に定着させるためのユニットです。
印刷枚数により定期的な交換が必要な部品です。

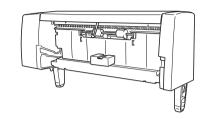
☞「5.8 定期交換部品について」（65 ページ）

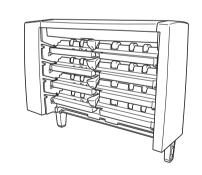
2．オプションについて

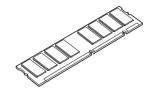
2.1 オプションの紹介

●拡張ペーパフィーダセット（CP-CPF80A3UT）

500枚の用紙をセットできる増設用の給紙装置です。２段まで取り付けられます。２段増設時には本体ペーパカセット、マルチペーパフィーダと合わせて最大1,350枚の用紙を同時にセットできます。

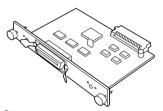
●両面印刷ユニット（CP-RIS80）

自動両面印刷が可能になります。

●シフトトレイ （CP-OST80）

標準のメイン排紙トレイ（250枚）と合わせて最大500枚の排紙が可能になります。またハードディスクユニットを同時に取り付けると、ジョブ単位で用紙をずらして印刷するシフトソートが可能になります。

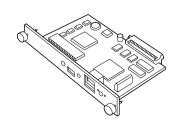
●４ビンプリントトレイ（CP-BPT80）

個人あるいは部単位で排紙先を指定することが可能になり、印刷ジョブの混在を防ぐことができます。標準のメイン排紙トレイ（250枚）と４ビンプリントトレイ（各ビン50枚× 4）で最大450枚の排紙が可能になります。

●増設メモリモジュール

プリンタ本体には標準で３２Ｍバイトのメモリが装備されています。SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

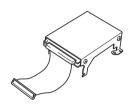
- 64M バイト .. CP-SDR64M
- 128M バイト... CP-SDR128M

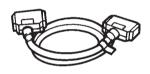
●拡張パラレル IF ポート --- CP-PIO7

プリンタに取り付けることにより、パラレルインターフェイスをもう１つ追加できます。

「2.6 インターフェイスボードを取り付ける」（25ページ）

● LAN I/F ポート------------- CP-NW100SP

プリンタに取り付けることにより、イーサネットに接続して、LANのプリンタとして共有できるようになります。対応プロトコル TCP/IP、IPX/SPX、Net BEUI、HTTPD

「2.6 インターフェイスボードを取り付ける」（25ページ）

●ハードディスクユニット（CP-HDD）

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

●プリンタケーブル

パソコンとプリンタを接続するケーブルです。パソコンごとに各種プリンタケーブルがあります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port）モードをサポートしていますが、ECPでご使用になるときは、カシオCP-CA554（DOS/V機用）プリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側にもECPモードをサポートしている必要があります。

※ 各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になるときは、必ずケーブルとコネクタがシールドされているものをご使用ください。 シールドされていないものをご使用になると電波障害の原因になることがあります。

2.2 オプションの構成

⚠ 注 意

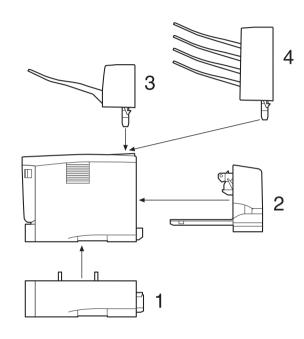
オプションの取り付け、取り外しは、プリンタの電源スイッチが切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行なってください。やけどの原因になります。

オプション取り付けの流れ

プリンタ本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをおすすめします。

❶ 拡張ペーパフィーダセットを取り付ける ▼	本体の底部に取り付けます。最大２段まで取り付けることができます。２段取り付けた場合、最大1350枚の用紙を同時にセットできます。
❷ 増設メモリモジュールを取り付ける ▼	コントローラーボード内のSDRAMモジュール用スロットに取り付けます。
❸ LAN I/Fまたは拡張パラレルIFボードを取り付ける ▼	コントローラーボードの拡張I/Fボード用スロットに取り付けます。
❹ ハードディスクユニットを取り付ける ▼	コントローラーボードのハードディスクユニット用コネクタに取り付けます。
❺ 両面印刷ユニットを取り付ける ▼	プリンタ本体のリアカバーを取り外して取り付けます。
❻ シフトトレイ、または４ビンプリントトレイを取り付ける	シフトトレイか４ビンプリントトレイのどちらかひとつをプリンタ本体の上カバーを取り外して取り付けます。

オプションの取り付け位置

オプションを取り付ける位置は、以下のとおりです。

1. 拡張ペーパフィーダセット ☞ 19 ページ参照

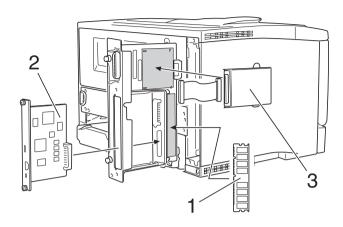
2. 両面印刷ユニット ☞ 26 ページ参照

3. シフトトレイ ☞ 28 ページ参照

4. 4 ビンプリントトレイ ☞ 29 ページ参照

補足

- 拡張ペーパフィーダセットのペーパカセットを［CPF2（または3）］と呼びます。
- シフトトレイの排紙トレイを［シフトトレイ］と呼びます。
- 4 ビンプリントトレイの排紙トレイを［ビン1（～4）］と呼びます。

内部

1. 増設メモリモジュール 20 ページ参照

2. LAN I/F ボード 25 ページ参照

3. ハードディスクユニット 23 ページ参照

2.3 拡張ペーパフィーダセットを取り付ける

注 意

プリンタ本体は消耗品やオプション類を取り外しても約16kgあります。

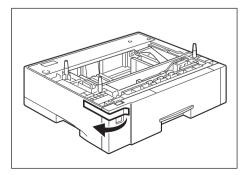
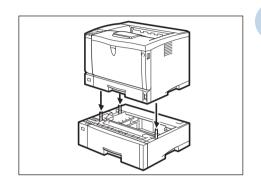
プリンタを移動させるときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

長距離を移動するときは、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンター （66ページ）に相談してください。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープを取り外します。

補足

■ 拡張ペーパフィーダセットを１段のみ取り付ける場合は、手順 4 へ進んでください。

3 **拡張ペーパフィーダセットを2段取り付けるときは、あらかじめペーパフィーダ同士を積み重ねておきます。**

4 **左右の取っ手をつかんでプリンタ本体を持ち上げます。プリンタ本体と拡張ペーパフィーダセットの前面を合わせるようにして、拡張ペーパフィーダセットの上にプリンタ本体を静かに載せます。**

5 **電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。**

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

6 **プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、取り付けた台数分の「給紙装置」を追加します。**

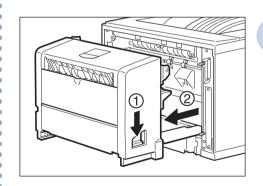
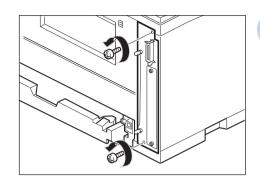
2.4 増設メモリモジュールを取り付ける

重要

増設メモリモジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

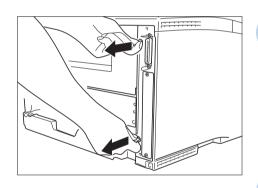
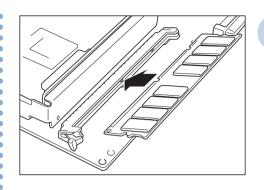
補足

- オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、手順 3 へ進んでください。

2 **両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。**

3 **コントローラーボードを固定しているねじ2本を取り外します。**

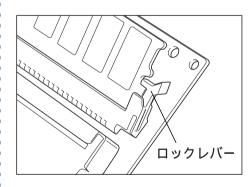
取り外したねじは手順 **10** でコントローラーボードを固定するときに使用します。

4 **取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。**

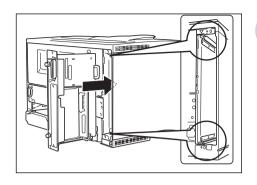
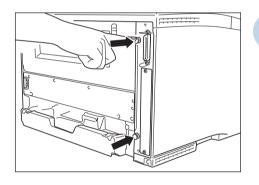
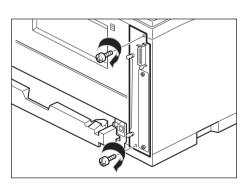
5 **コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。**

重要

コントローラボードに強い衝撃やねじれなどの力を加えないでください。精密電子部品を実装していますので故障の原因になることがあります。

6 **増設メモリモジュールの切り欠きを、差し込み口の凸部に合わせて奥までしっかり差し込みます。**

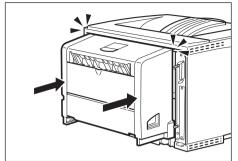
補足

- 奥までしっかり差し込まれていないと、「サービスニレンラク!! 203」エラーになる場合があります。

7 **差し込み口の図のロックレバーが増設メモリをロックしていることを確認します。**

補足

- ロックレバーは、片側にのみ付いています。

8 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

9 コントローラーボードの取っ手（2ケ所）をカチッと音がする位置まで押し込みます。

10 ねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。

✎ **補足**

■ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、手順 12 へ進んでください。

11 両面印刷ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。

12 プリンタの電源を入れます。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

13 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、メモリ追加後の「搭載メモリ」を選択します。

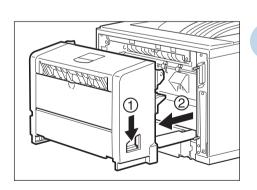
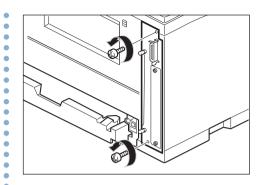
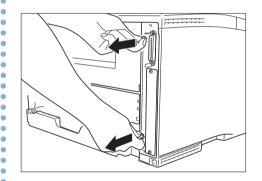
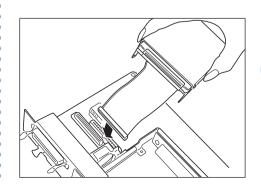
2.5 ハードディスクユニットを取り付ける

重要

- **ハードディスクユニットに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- **ハードディスクに強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になることがあります。**

1 プリンタの電源を切ります。

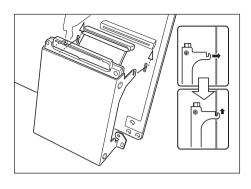
補足

■ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、手順 3 へ進んでください。

2 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げて(①)、両面印刷ユニットが止まる位置まで引き出します(②)。

3 コントローラーボードを固定しているねじ 2 本を取り外します。

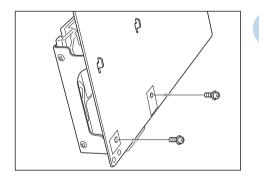
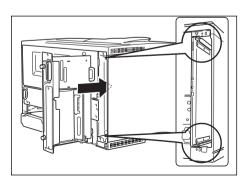
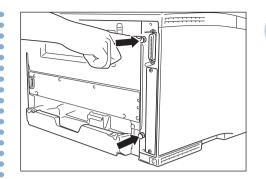
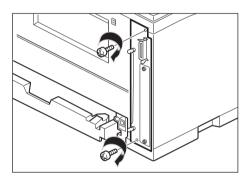
取り外したねじは手順11で再びコントローラーボードを固定するときに使用します。

4 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

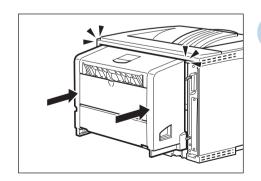
5 コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。

6 ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクタに差し込みます。

7 ハードディスクユニットのフックを図の位置に引っ掛けます。

補足

- フックでコントローラーボードのパターンにキズをつけないようご注意ください。

8 コントローラーボードの裏側からねじ２本で固定します。

9 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

10 コントローラーボードの取っ手（2ケ所）をカチッと音がする位置まで押し込みます。

11 ねじを2本締め、コントローラーボードを固定します。

補足

- 両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、手順 13 へ進んでください。

12 両面印刷ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。

13 プリンタの電源を入れます。

補足

- ハードディスクユニットを使用する前にフォーマットを行なってください。リファレンスマニュアル「HDDフォーマット」（15 ページ）参照

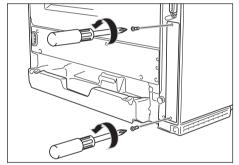
「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

14 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で「ハードディスク」を追加します。

2.6 インターフェイスボードを取り付ける

重要

インターフェイスボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 図のねじ2本を外し、拡張スロットのシールドカバー（金属板）を取り外します。

補足

- 取り外したねじとカバーは使用しません。

3 拡張パラレルIFボードまたはLAN I/Fボードを拡張スロットのガイドに合わせて差し込み、ねじ2本を手で回して固定します。

4 プリンタの電源を入れます。

補足

- 拡張パラレルIFボードの設定は「付録6. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について」（96ページ）を参照してください。
- LAN I/Fボードの設定については、LAN I/Fボードに同梱の取扱説明書（CD-ROM内に収録）を参照してください。
- CP-NW200T LAN I/FボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定は、プリンタの操作パネルで設定してください。「付録9. CP-NW200T LAN I/Fボードの設定方法」(100ページ)

2.7 両面印刷ユニットを取り付ける

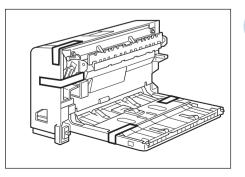
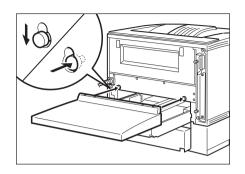
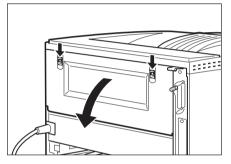
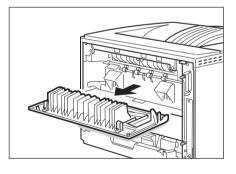
操作の前に

オプションの拡張ペーパフィーダセットは、両面印刷ユニットを取り付ける前に取り付けてください。

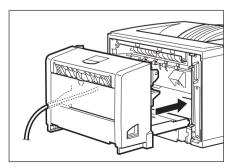
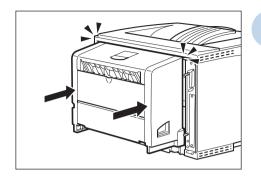
「2.3 拡張ペーパフィーダセットを取り付ける」（19ページ）

注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 固定用のテープを取り外します。

3 ペーパカセットカバーを取り外します。

4 プリンタ本体のリアカバーを、2個所のつめを降ろして開けます。

5 リアカバーを水平方向に取り外します。

 補足

■ 取り外したカバーは使用しません。

6 電源ケーブルを両面印刷ユニット側面の溝に沿わせて、両面印刷ユニットを本体背面のレールに差し込みます。

7 両面印刷ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。

8 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

9 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「両面印刷ユニット」を追加します。

補足

■ 両面印刷できる用紙は以下の範囲のものです。
紙種：普通紙（64～105g／m²）
サイズ：A3 、B4 、A4 、B5 、A5 、Letter 、不定形（182～297mm×148～432mm）

2.8 シフトトレイを取り付ける

操作の前に

オプションの拡張ペーパフィーダセットは、シフトトレイを取り付ける前に取り付けてください。

☞「2.3 拡張ペーパフィーダセットを取り付ける」(19ページ)

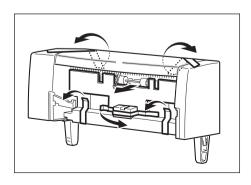
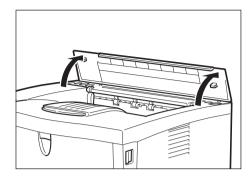
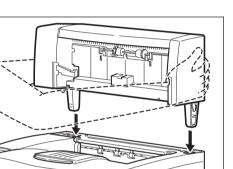
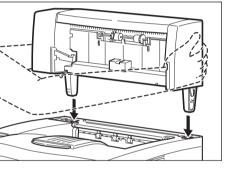
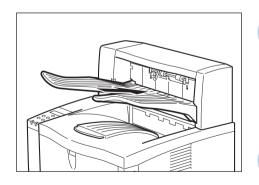
⚠ 注 意

シフトトレイを取り付けるときは、必ず両側面を持ってください。底部を持つと手をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

1 **プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **固定用のテープと固定材を取り外します。**

3 **プリンタ本体の上カバーを取り外します。**

補足

- 取り外した上カバーは使用しません。

4 **シフトトレイを両側面から持ち上げ、プリンタ本体の差し込み口に合わせて、カチッと音がするまでゆっくりと降ろします。**

5 **トレイを前面から差し入れます。**

6 **電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。**

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

7 **プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で「シフトトレイ」を追加します。**

2.9 4ビンプリントトレイを取り付ける

操作の前に

オプションの拡張ペーパフィーダセットは、4 ビンプリントトレイを取り付ける前に取り付けてください。

☞「2.3 拡張ペーパフィーダセットを取り付ける」（19 ページ）

⚠ 注 意

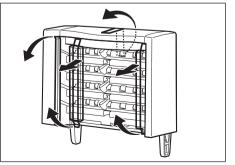
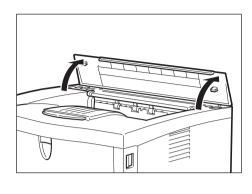
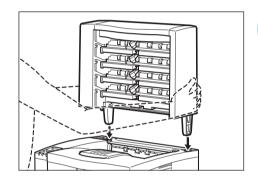
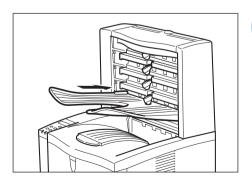
4ビンプリントトレイを取り付けるときは、必ず両側面を持ってください。底部を持つと手をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。

1 **プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **固定用のテープと固定材を取り外します。**

3 プリンタ本体の上カバーを取り外します。

補足

■ 取り外した上カバーは使用しません。

4 4ビンプリントトレイを両側面から持ち上げ、プリンタ本体の差し込み口に合わせて、カチッと音がするまでゆっくりと降ろします。

5 一番下の段にトレイを差し入れます。

6 下の段から順番に、残り3つのトレイを差し入れます。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンタの電源を入れます。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA CP-E8000」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

8 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で「4ビンプリントトレイ」を追加します。

3. プリンタドライバをインストールする

本書は Windows の機能と操作方法について十分ご理解いただいていることを前提に説明しています。
Windows の機能および操作方法の詳細については、Windows の説明書を参照してください。

オートランプログラムについて

Windows95/98/Me、Windows2000/XP、WindowsNT4.0 上で CD-ROM をパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタドライバやユーティリティなどの各種ソフトウェアのインストールメニューが自動的に起動します。

補足

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「startup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- オートランを無効にしたいときは、左側の【Shift】キーを押しながら CD-ROM を挿入し、パソコンが CD-ROM をアクセスし終わるまで左側の【Shift】キーを押したままにします。
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、以降のすべてのソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタドライバをインストールし直してください。

制限

- Windows2000/XP、WindowsNT4.0 でインストーラを使用するときは Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

4. 用紙の補給

4.1 ペーパカセットにセットできる用紙

各トレイにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数は以下のとおりです。

● □ は縦方向に用紙をセットすることを表わします。
● □ は横方向に用紙をセットすることを表わします。

用紙の種類	用紙サイズダイヤルをセットしたサイズと方向に合わせます	最大セット枚数
普通紙 再生紙 カラー紙	定形サイズ：A3 □、B4 □、A4 □、B5 □、A5 □、Letter □ 不定形サイズ：縦148～432mm（用紙ガイドが固定できる長さのみ）、横182～297mmの範囲で設定できます。	本体給紙トレイ：250枚 500枚増設トレイユニット：500枚

重要

セットした用紙サイズと方向に用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。不定型サイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「*」に合わせ、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙サイズの設定をしてください。

補足

- 本体ペーパカセット、および拡張ペーパフィーダセットにセットできる用紙の厚さは、52～90kg紙（60～105g/m²）の範囲のものです。
- 用紙の継ぎ足しは、重送による紙詰まりの原因になることがあります。

4.2 マルチペーパフィーダにセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙のサイズとセット方向	最大セット枚数
普通紙 再生紙	定型サイズ： A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Letter 不定形サイズ（フリー）： 縦148～900mm、横90～305mmの範囲で設定できます。	100枚 A4より大きいサイズ：10枚 A3より大きいサイズ：1枚
OHPフィルム ラベル紙		25枚
官製はがき	はがき	40枚
封筒	封筒（長形3号、長形4号、洋形1号、洋形4号）	25枚

重要

マルチペーパフィーダに用紙をセットしたときは、プリンタドライバで用紙サイズの設定が必要です。

「4.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする」（42ページ）

不定形サイズの用紙をセットしたときは、プリンタドライバで用紙サイズを設定する必要があります。

「4.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする」（42ページ）

マルチペーパフィーダにA3より長い用紙をセットしたときは、正しく用紙が送られるように1枚ずつ手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

補足

- マルチペーパフィーダにセットできる用紙の厚さは45～140kg紙（52～162g/m²）です。
- 45kg紙（52g/m²紙）、またはA3以上の長さの用紙は、直角に裁断されていないと正しく給紙されないことがあります。

◆用紙を取り扱うときの注意◆

用紙を取り扱うときは以下の点に注意してください。

用紙をセットするとき

- 用紙はカシオ推奨の用紙のご利用をおすすめします。カシオ推奨の用紙の種類とサイズは ☞「付録 2．用紙について」（85 ページ）を参照してください。
- ペーパカセットに用紙をセットするときは、ペーパカセットの上限表示を超えないようにしてください。
- マルチペーパフィーダにセットするときは、用紙がサイドガイドのつめの下に収まるようにしてください。
- 用紙をセットしたペーパカセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

用紙を保管するとき

- 用紙は以下の点に注意して保管してください。
- 湿気の多い所には置かない。
- 直射日光の当たる所には置かない。
- 立て掛けない。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

●普通紙

- 90kg 紙（105g/m^2）より厚い用紙に印刷するときはマルチペーパフィーダにセットしてください。マルチペーパフィーダには140kg紙(162g/m^2)までセットできます。
- 目安として 90kg 紙(105g/m^2)より厚い用紙をセットしたときは、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙種類を「厚紙」に切り替えます。プリンタドライバで設定する場合は、操作パネルでの設定は不要です。
- 反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

● OHP フィルム

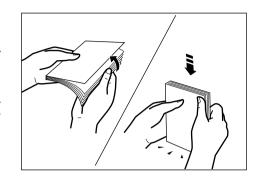
- ＯＨＰフィルムはマルチペーパフィーダにセットしてください。一度に25枚までセットできます。
- OHPフィルムに印刷するときは、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙種類を「OHP」に切り替えます。プリンタドライバで設定する場合は、操作パネルでの設定は不要です。ただし、本プリンタ用のプリンタドライバ以外で印刷するときは、操作パネルで設定する必要があります。
- 印刷面にできるだけ手を触れないようにしてください。印刷面が汚れたり傷がついたりすると印刷品質に影響が出ます。OHPフィルムを持つときは、できるだけ端を持ってください。
- 表裏のあるOHPフィルムに印刷するときは、印刷面を上にしてマルチペーパフィーダにセットします。

●ラベル紙

- ラベル紙はマルチペーパフィーダに25枚までセットできます。
- リコピーPPC用ラベル紙タイプDXは、方向にセットすることを推奨します。
- 用紙の全面が印刷できる物で、糊面がはみ出していない物を使用してください。
- コーティングされている用紙は、通常の用紙よりもトナーの定着が悪いため、印刷品質が落ちます。

●官製はがき

- 官製はがきは、さばいて端をそろえてから（図参照）、マルチペーパフィーダにセットしてください。一度に40枚までセットできます。

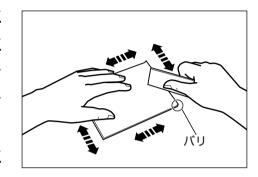
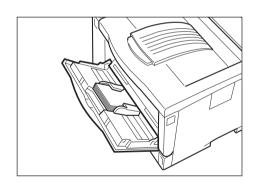
- はがきが反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

重要

はがきに反りがあると、はがきの不送りの原因になります。

- はがきの裏面にバリ（紙を裁断したときにできた返し）があるときは、バリを取り除いてからセットしてください。バリを取り除く方法は以下のとおりです。

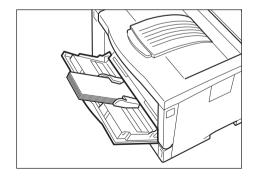
  ① はがきを平らなところに置き、定規などを水平に１～２回動かしてはがきの４辺のバリを取り除きます。

  ② バリを取り除いたときに出た紙の粉をはらいます。

- 印刷する面を上にして、印刷開始方向から先に差し込みます。

- 官製はがきを印刷するときは、プリンタドライバで種類を「厚紙」に切り替え、用紙サイズを「はがき」に設定してください。

- 印刷できるのは普通紙の官製はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。
  - 私製はがき
  - 絵はがきなどの厚いはがき
  - 年賀状やかもめーるなどのはがき
  - 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき
  - インクジェットプリンタ専用のはがき
  - 一度印刷したはがき
  - 表面加工されたはがき
  - 表面に凹凸のあるはがき

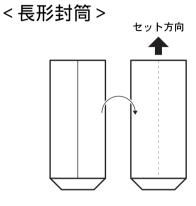
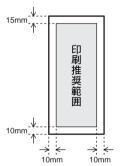
●封筒

- 封筒はマルチペーパフィーダにセットしてください。一度に 25 枚までセットできます。
- 洋形封筒は印刷する面を上に、フラップ(ふた)を左側にして、マルチペーパフィーダにセットしてください。
- 長形封筒は印刷する面を上に、フラップ（ふた）を手前側にして、マルチペーパフィーダにセットしてください。

- 封筒は､本プリンタ推奨のものをご使用ください。推奨品以外の封筒では、正しく印刷されないことがあります。

＜洋形封筒＞

セット方向

＜長形封筒＞

- 封筒の表面（宛名の面）の図の範囲（印刷推奨範囲）に印刷できます。裏面には印刷しないでください。

- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 印刷するときは、プリンタドライバで、用紙種類を「厚紙」に切り替え、用紙サイズを指定してください。

☞「4.4 マルチページフィーダに用紙をセットする－4」（43 ページ）

- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りする場合に、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。

使用できない用紙

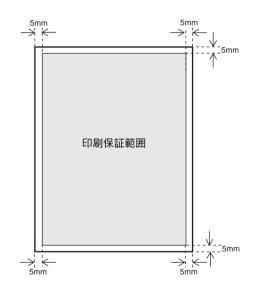
以下のような用紙は使用しないでください。

- しわ、折れ、破れ、端が波打っている用紙
- カール（反り）のある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙、特にレーザープリンタ以外の機種（モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンタなど）で印刷された物は、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見えるラベル紙
- ステープラー、クリップなどを付けたままの用紙

補足

■ プリンタに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙詰まりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

印刷保証範囲

本機の印刷保証範囲は以下の図のとおりです。

ただし長尺紙は900mmまで印刷できますが、印刷保証範囲は給紙方向に対して長さ422mmまでです。

4.3 ペーパカセットに用紙をセットする

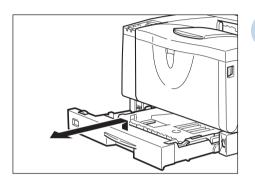
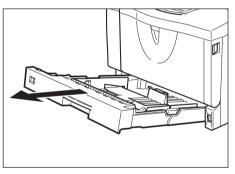
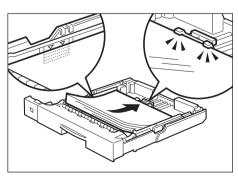
ここではペーパカセットに用紙を補給する方法と、用紙サイズを変更して用紙をセットする方法を説明します。標準の本体ペーパカセット[CPF1]も、オプションの拡張ペーパフィーダセット[CPF2]/[CPF3]もセット方法は同じです。
ここでは本体ペーパカセット[CPF1]を例に説明します。

参照

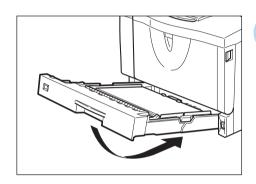
本体ペーパカセット、拡張ペーパフィーダセットにセットできる用紙については「4.1 ペーパカセットにセットできる用紙」(32 ページ)を参照してください。

用紙を補給するとき

参照

用紙サイズを変更する場合は「用紙サイズを変更するとき」（40 ページ）を参照してください。

1 **ペーパカセットを少し持ち上げてから、止まるまで引き出します。**

2 **前面を持ち上げて引き抜きます。**

3 **印刷する面を下にして用紙をセットします。**

重要

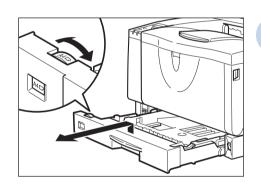
用紙は、用紙ガイドの▼マークやつめの下に収まる量をセットしてください。

4 **前面を持ち上げるようにしてペーパカセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**

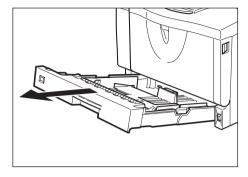
重要

ペーパカセットを勢いよく入れると、用紙ガイドがずれることがあります。

用紙サイズを変更するとき

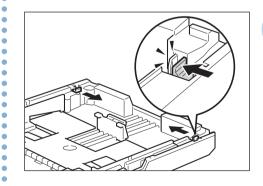
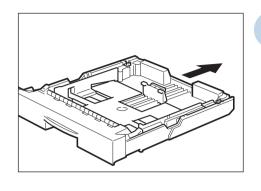
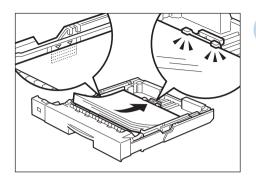
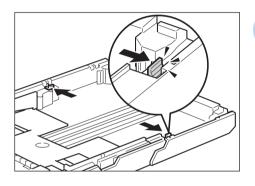
重要

セットする用紙のサイズ・用紙の方向に、用紙サイズダイヤルの表示を必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルの表示が合っていないと、プリンタ内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。CPF2, 3 では「ヨウシカセット　ナシ」エラーが表示される場合があります。

1 ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出します。用紙サイズダイヤルの表示を、セットする用紙のサイズ・用紙の方向に合わせます。

不定型サイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせて、プリンタドライバまたは操作パネルで用紙サイズを設定します。

2 前面を持ち上げて引き抜きます。

3 A 4 より大きいサイズの用紙をセットするときは、ペーパカセットを延長します。

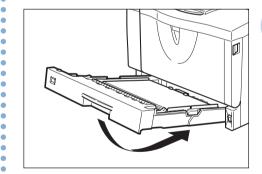
補足

- A 4 より小さいサイズの用紙はペーパカセットを延ばした状態ではセットできません。その場合、ペーパカセットを標準の長さに戻して使用します。

4 ペーパカセットの２カ所のロックを内側にスライドさせて外します。

5 ペーパカセットを延長します。

6 ペーパカセットの２カ所のロックを外側にスライドさせて固定します。

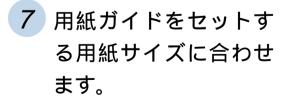
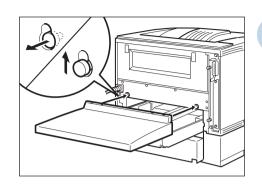
きちんとロックされていないと、用紙が正しく送られない原因になります。

7 用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせます。

8 印刷する面を下にして用紙をセットします。

重要

用紙は、用紙ガイドの▼マークやつめの下に収まる量をセットしてください。

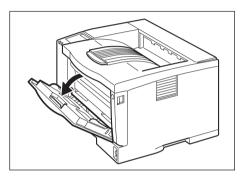
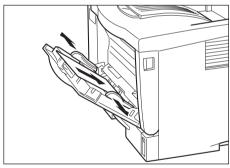
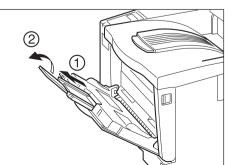
9 前面を持ち上げるようにしてペーパカセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

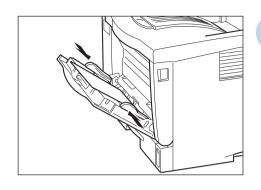
重要

ペーパカセットを勢いよく入れると、用紙ガイドがずれることがあります。

10 手順 5 でペーパカセットを延長した場合は、付属のペーパカセットカバーを取り付けます。

補足

- ペーパカセットカバーには取り付け用の穴が４つあります。
  - ペーパカセットカバーを本体ペーパカセットに取り付けるときは、外側２つの穴を使用します。
  - ペーパカセットカバーを拡張ペーパフィーダに取り付けるときは、内側２つの穴を使用します。
  - ３段目の拡張ペーパフィーダに取り付けるときは、プリンタと２段目の拡張ペーパフィーダを取り外してからペーパカセットカバーを取り付けてください。

4.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする

マルチペーパフィーダには、普通紙以外に官製はがきやA3より長い用紙など、ペーパカセットにセットできない用紙をセットできます。

1 マルチペーパフィーダを開けます。

2 サイドガイドを広げ、印刷する面を上にして用紙が突き当たるまで差し込みます。

補足

- A４より長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。

3 サイドガイドを用紙に押し当てます。

重要

セットした用紙がサイドガイドのつめの下に収められていることを確認してください。

A3以上の長さの用紙は1枚ずつセットし、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

補足

- 45kg紙、またはA3以上の長さの用紙は、直角に裁断されていないと正しく給紙されないことがあります。

4 プリンタドライバでセットした用紙サイズと紙種を設定します。

補足

- 本プリンタ用のプリンタドライバを使用しないときは、操作パネルで「給紙選択」「MPF用紙サイズ」「紙種」等を設定してください。

☞ リファレンスマニュアル「B0 給紙選択」（17ページ）
☞ リファレンスマニュアル「B3 MPF用紙サイズ」（18ページ）
☞ リファレンスマニュアル「F0 紙種」（23ページ）

5. こんなときには

お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで該当するページをクリックしてください。
どうしても解決しないときは「お問い合わせ先」をクリックして、それぞれのお問い合わせ先にご連絡ください。

5.1 メッセージが表示されたとき

オペレータコール

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
カセットサイズ゛　カクニン CPF1　2　3	下段に表示されているペーパカセットに使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットの用紙サイズダイヤルが正しい位置にありません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	正しく用紙をセットして、用紙サイズダイヤルを所定の位置にあわせてください。	39
カハ゛ーオーフ゜ン ■■■■■■■■■	カバーが開いています。 ■■■■：カバーの種類を表します。 フロントカバー、リアカバー／ハイシカバー、リョウメンカバー、フィニッシャハイシカバー	表示されているカバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。 リョウメンカバー： オプションの両面印刷ユニットのカバー フィニッシャハイシカバー： オプションの4ビンプリントトレイまたはシフトトレイのカバー 注）カバーオープン時にブザーは鳴りません！	12
カミツ゛マリ　▲▲マイ ABCDEFGXYZ	紙詰まりが起こりました。 ▲▲：詰まっている用紙の枚数を表わします。なお？？と表示されたら枚数不明状態です。 A～G, X～Z：該当する紙詰まりの場所が全て表示されます。	詰まった用紙を取り除いてください。 注）実際の紙詰まり枚数と表示枚数は、一致しない事があります。また、紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性もあります。	68

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ト゛ラムトナー　コウカン	ドラムトナーセットが寿命になりました。	ドラムトナーセットを新しいものと交換してください。	78
ト゛ラムトナー　コウカンヨコク	ドラムトナーセットの寿命が近くなりました。	新しいドラムトナーセットをご準備ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	78
ト゛ラムトナー　ミソウチャク	ドラムトナーが取り付けられていません。 または、正しく取り付けられていません。	ドラムトナーセットを正しく取り付けてください。	78
ハイシ　ヨウシ　マンハ゜イ メイン　シフト または、 ハイシ　ヨウシ　マンハ゜イ メイン　ヒ゛ン　1　2　3　4	下段に表示されている排紙口が用紙でいっぱいになりました。 注）下段には該当する排紙口が全て表示されます。 メイン：メイン排紙トレイ（プリンタ上部） シフト：シフトトレイ ビン　1～4：4ビンプリントトレイのビン1～4	用紙を取り除いてください。	－
ヨウシカセット　ナシ ＣＰＦ１　２　３	下段に表示されているペーパカセットがプリンタに取り付けられていません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	ペーパカセットを、プリンタの奥まで確実に取り付けてください。 用紙サイズダイヤルのサイズ表示が、表示窓の中央にくるように合わせてください。	39 40
ヨウシ　ホキュウ ★★★★★　※※※※	用紙がなくなりました。 ★★：給紙口を表わします。 CPF1、CPF2、CPF3、MPF、ジドウ ※※：用紙サイズを表わします。	各給紙部に用紙を補給してください。	39 42
リョウメンユニット　カクニン	両面印刷装置が正しく装着されていません。	両面ユニットを閉じて（セットして）ください。 両面印刷装置を正しく装着し直してください。	26
リョウメンユニット　ミソウチャク	両面印刷装置が抜かれています。 または、装着されていません。	両面印刷装置をセットしてください。 （両面印刷装置を外している場合は、再度取り付けてください。）	26

警告エラー

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ＬＡＮ　ﾎﾞｰﾄﾞ　ｲｼﾞｮｳ ﾎﾞｰﾄﾞ　ｶｸﾆﾝ	LANボードが正しく装着できていない、あるいは、LANボードに異常が発生しました。	電源切断した後、ボードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください。ボードを正しく装着して、もう一度電源を入れ直してください。それでも左記メッセージを表示している場合は、LANボードを交換してください。	25
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐｴﾗｰ	ハードディスクにデータを書き込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。もう一度データを送り直してください。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾃﾞｰﾀｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。異常箇所を削除します。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。ハードディスクのフォーマットを実行してください。	リファレンスマニュアル 15
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾐｿｳﾁｬｸ	ハードディスクが装着されていません。	取消ボタンを押して、エラーを解除してください。ハードディスクを取り付けてください。	23
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾖｳﾘｮｳ　ﾌｿｸ	ハードディスクに空き容量がありません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。不要なデータを削除してください。	―
ﾊｰﾄﾞ　ﾃﾞｨｽｸ ﾖﾐﾀﾞｼｴﾗｰ	ハードディスクからデータを読み込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。	―

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メモリオーバ゛ー メモリカ゛タリマセン	メモリ容量不足で印刷ができません。	取消 ボタンを押して、エラーを解除してください。別売の増設メモリモジュールを取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。または解像度を下げて印刷してください。	20
ヨウシ　コウカン ★★★★★　※※※※	印刷しようとしたサイズの用紙がプリンタにセットされていません。 ★★：給紙口を表わします。 CPF1、CPF2、CPF3、ジドウ、MPF ※※：用紙サイズを表します。	表示されている給紙口に、表示されているサイズの用紙を入れ、取消 ボタンを押してください。用紙を交換せずに 取消 ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。	32

エラーメッセージ

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
サーヒ゛ス　ニ　レンラク！！ 1×× Controller Error 2××	プリンタの修理が必要です。 1××又は2××には3桁の数字が表示されます。	一度電源をOFFにし、数分後に電源をONにします。再度表示されたときは、1××又は2××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	66
Internal Error 3××	プリンタ内部にエラーが発生しました。 3××には3桁の数字が表示されます。	電源を再投入すると復旧します。再度表示されたときは、3××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	66

5.2 印刷がはじまらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷がはじまらないときは、以下のことを確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「❙ On」側にしてください。
オンラインランプが点灯していますか？	【オンライン】ボタンを押して、オンラインランプを点灯させてください。
メッセージランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、ディスプレイのメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。☞ 5.1 メッセージが表示されたとき（45ページ）
用紙はセットされていますか？	ペーパカセットやマルチペーパフィーダに用紙をセットしてください。 ☞ 4.3 ペーパカセットに用紙をセットする（38ページ） ☞ 4.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする（42ページ）
ステータスシートの印刷ができますか？	ステータスシートの印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。お近くのカシオテクノ・コールセンターに相談してください。 ☞ リファレンスマニュアル「設定値を確認する」（12ページ）
プリンタケーブルがきちんと接続されていますか？	プリンタケーブルがパソコン、プリンタにしっかりと接続されていることを確認します。コネクタに金具が付いているときは、金具を使用して固定します。
プリンタケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するプリンタケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なプリンタケーブルを使用してください。断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。
印刷実行後、データランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータランプが点滅･点灯しないときは､プリンタにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は次ページの補足を参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。

補足

■ データランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。

● パソコンとプリンタケーブルで直接接続しているとき

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェイスで接続しているときは、LPT1またはLPT2に設定します。

• Windows95/98/Meの場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
③ [詳細] タブをクリックします。
④ [印刷先のポート] ボックスで正しいポートを選択します。

• Windows2000/XPの場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
③ [ポート] タブをクリックします。
④ [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

• WindowsNT4.0の場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
③ [ポート] タブをクリックします。
④ [印刷するポート] ボックスで正しいポートを選択します。

5.3 画像トラブルの直し方

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近いと思われる症状を選び、処置を行なってください。
該当する処置を行なっても印刷品質が改善されない場合は、販売店までご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい （かすれる、不鮮明）	印刷濃度の設定が薄くなっていませんか。	リファレンスマニュアル「C１インサツノウド」で印刷濃度の設定を濃くしてください。 ☞ リファレンスマニュアル「C１インサツノウド」（２０ページ）
	カラーのデータを印刷していませんか。	印刷データをモノクロにするか、プリンタドライバの「カラー調整」の「明るさ」を調整してください。
	操作パネルで「F２トナーセーブ」が設定されていませんか。	「F2トナーセーブ」を「ノーマル」に設定してください。 ☞ リファレンスマニュアル「F2トナーセーブ」（23ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 4. 用紙の補給（３２ページ）
	ドラムトナーセット内にトナーが残っていません。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（７８ページ）
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	プリンタが結露しています。 気温が低い日の朝や、寒い所から暖かい所に移動したときに発生しやすくなります。	電源スイッチをＯＮにしたまま１０～２０分間放置します。ステータスシートの印刷を行ない、印刷が濃くなったことを確認します。 結露がひどいときは回復に1時間程度かかることがあります。 ☞ リファレンスマニュアル「設定値を確認する」（１２ページ）
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（７８ページ）

症　状	原　因	処　置
黒点が印刷される	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（85ページ）
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
黒線が印刷される	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
等間隔に汚れる	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚印刷して汚れを落としてください。
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）

症　状	原　因	処　置
黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（85ページ）
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
指でこするとかすれる	フロントカバーが完全に閉まっていません。	フロントカバーを閉め直してください。フロントカバーの両端が確実にロックされていることを確認してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 4. 用紙の補給（32ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（85ページ）
用紙全体が黒く印刷される	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	高圧電源の故障が考えられます。	販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。 ☞ お問い合わせ窓口（66ページ）

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない	ドラムトナーセットのトナーシールが引き抜かれていません。	ドラムトナーセットを取り外し、トナーシールを引き抜いてください。 トナーシールを引き抜かずに電源を入れるとプリンタが故障することがあります。ドラムトナーセットを交換するときは必ずトナーシールを引き抜いてください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	特殊紙はよくさばいてからセットし直してください。 普通紙は用紙のつぎ足しをしないようにしてください。
	ドラムトナーセット内にトナーが残っていません。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	高圧電源の故障が考えられます。	販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。 ☞ お問い合わせ窓口（66ページ）
部分的に白く抜ける	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 4. 用紙の補給（32ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（85ページ）
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	トナーシールが完全に引き抜かれていません。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	ドラムトナーセット内にトナーが残っていません。	

症　状	原　因	処　置
用紙にシワがつく 文字がにじむ、むらになる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（85ページ）
	用紙が湿気をふくんでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 4. 用紙の補給（32ページ）
	厚紙やOHPフィルムを「普通紙」設定で印刷していませんか。	プリンタドライバで紙種を「厚紙／O　H　P　」に設定してください。Windows環境以外の場合は、操作パネル「A5紙種」の設定を「アツガミ／OHP」に設定してください。 ☞ プリンタドライバマニュアル「3.4 給排紙」（18ページ） ☞ リファレンスマニュアル「F0紙種」（23ページ）
縦長に白抜けする	ドラムトナーセットが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	ドラムトナーセット内のトナーが片寄っています。	中のトナーが均一になるように、ドラムトナーセットをかるく振ってください。
	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換（78ページ）
	ドラムトナーセット内にトナーが残っていません。	

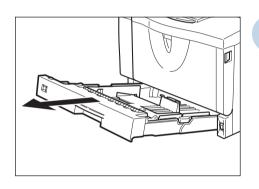
症　状	原　因	処　置
背影がトナーで黒ずむ	印刷濃度の設定が濃くなっていませんか。	リファレンスマニュアル「C 1 インサツノウド」で印刷濃度の設定を薄くしてください。 ☞ リファレンスマニュアル「C1印刷濃度」(20ページ)
	用紙が反ったり曲がったりしていませんか。	はがきに印刷するときは特にカールしやすいので、カールを直してから印刷してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 4. 用紙の補給(32ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(85ページ)
太い文字に影ができる	ドラムトナーセットが劣化または損傷しています。	新しいドラムトナーセットと交換してください。 ☞ 7. ドラムトナーセットの交換(78ページ)
黒ベタやあみかけ部分が白くかすれる	黒印字面積が多い画像を連続して印刷すると印刷がかすれることがあります。	黒印字面積を少なくしてください。 または、部単位コピーを選ぶなどにより、黒印字面積が多いページを連続で印刷しないようにしてください。

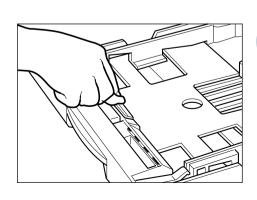
5.4 その他のトラブル

状　態	原因・対処方法・参照先
何度も用紙が詰まる	プリンタ内部に紙片などが残っていませんか？ ☞ 6.3 本体内部の紙詰まり（70ページ）
	本体ペーパカセットや拡張ペーパフィーダにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ☞ 4.3 ペーパカセットに用紙をセットする（38ページ） マルチペーパフィーダにセットしている用紙サイズ、方向と、プリンタドライバまたは操作パネルの設定が合っていない可能性があります。プリンタドライバまたは操作パネルで設定を確認し、セットした用紙サイズと方向に合わせてください。 ☞ 4.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする（42ページ）
	ペーパカセットの用紙ガイドがきちんとセットされているかどうか確認してください。
	給紙コロが汚れていると用紙が詰まりやすくなります。給紙コロを清掃してみてください。 ☞ 5.6 給紙コロの清掃（60ページ）
用紙が一度に何枚も送られる	フリクションパッドが汚れている可能性があります。フリクションパッドを清掃してみてください。 ☞ 5.5 フリクションパッドの清掃（59ページ）
用紙がトレイから送られない	給紙コロが汚れていると用紙が送られないことがあります。給紙コロを清掃してみてください。 ☞ 5.6 給紙コロの清掃（60ページ）
給紙トレイに詰まった用紙を取り除いたが、ディスプレイのエラーメッセージが消えない	紙詰まりのメッセージが表示されたときは、フロントカバーの開け閉めを行なわないとエラーメッセージが消えません。詰まった用紙を取り除いたあとは、フロントカバーの開け閉めを行なってください。

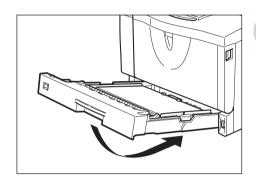
状　態	原因・対処方法・参照先
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	ペーパカセットにセットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ☞ 用紙サイズを変更するとき（40ページ）
	Windowsからの印刷時は操作パネルで給紙トレイを選択しても、プリンタドライバの設定が優先します。プリンタドライバで給紙するペーパカセットを選択してください。 ☞ プリンタドライバマニュアル「3.4 給排紙」（18ページ）
画面どおりに印刷されない	TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える設定で印刷していませんか？ 画面と同じ文字で印刷するには、TrueTypeフォントをイメージで印刷する設定を選択してください。 ☞ プリンタドライバマニュアル「3.7 印刷書式ー詳細設定ーフォント」（21ページ）
印刷の指示をしてから1枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンタにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。
	スリープモードになっている可能性があります。スリープモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。スリープモードを解除するには、操作パネル設定メニューの「GOスリープ」を「OFF」に変更してください。 ☞ リファレンスマニュアル「G0スリープ」（25ページ）
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷している可能性があります。アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 ☞ プリンタドライバマニュアル「3.2 レイアウト」（16ページ）

5.5 フリクションパッドの清掃

推奨上質紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、詰まったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

1 **ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出し、前面を持ち上げるようにして引き抜きます。**

2 **用紙が入っているときは取り出します。**

3 **水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッド（茶色の部分）を拭きます。**

重要

アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

4 **用紙をセットしてから、ペーパカセットを本体にゆっくりとセットします。**

重要

用紙をセットしたペーパカセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

補足

- フリクションパッドを清掃しても用紙が多重送りされたり、詰まったりする場合は、お近くのカシオテクノ・コールセンター ☞（66 ページ）に連絡してください。
- オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けているときは、本体のフリクションパッドと同じように拡張ペーパフィーダのフリクションパッドも清掃してください。

5.6 給紙コロの清掃

推奨上質紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出て給紙コロが汚れると、用紙が送られなかったり、詰まったりする原因になります。その場合、給紙コロを清掃します。

⚠ 注 意

プリンタ本体は消耗品やオプション類を取り外しても約16kgあります。

プリンタを移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

長距離を移動するときは、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンター ☞（66ページ）に相談してください。

⚠ 注 意

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注 意

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

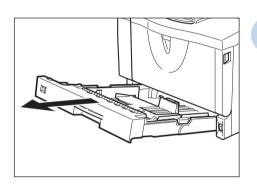
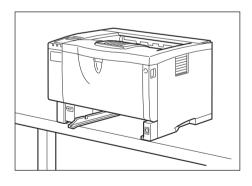
イラストはプリンタ本体の給紙コロの清掃の手順を示しています。

オプションの拡張ペーパフィーダの給紙コロも同様に清掃できます。ただし、拡張ペーパフィーダ用のコロの形は本体カセット用のものと異なります。それぞれの給紙コロを取り違えないようにしてください。

本体カセット用

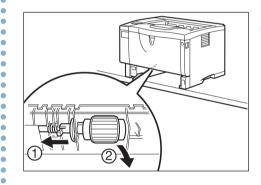
拡張ペーパフィーダ用

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルを本機から取り外します。

3 ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出し、前面を持ち上げるようにして引き抜きます。

4 プリンタ本体を、机の端に移動させます。

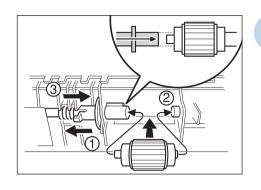
重要

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。

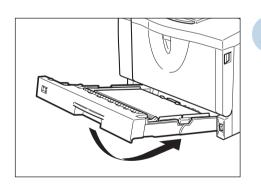
拡張ペーパフィーダを取り付けているときはプリンタ本体だけを持ち上げ、拡張ペーパフィーダから確実に離れたことを確認してから移動させてください。

5 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせて(①)、給紙コロを取り外します (②)。

6 水を固く絞った布で、給紙コロのゴムの部分を拭きます。

重要

アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

7 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせた状態で(①)、給紙コロをくぼみに入れ（②)、レバーを戻します(③)。

補足

■ 緑色の給紙コロ固定レバーの先が、給紙コロの突起部分を完全に覆っていることを確認してください。

8 本体を設置場所に戻し、ペーパカセットを本体にゆっくりとセットします。

重要

用紙をセットしたペーパカセットをプリンタにセットするときは、ゆっくりと入れてください。カセットを勢いよく入れると、カセットの用紙ガイドがずれることがあります。

9 電源プラグをコンセントに差し込み、インターフェイスケーブルを接続します。

10 本機の電源を入れます。

補足

■ オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けているときは、本体カセット用の給紙コロと同様の手順で拡張ペーパフィーダ用の給紙コロを取り外して清掃してください。

5.7 レジストローラー周辺の清掃

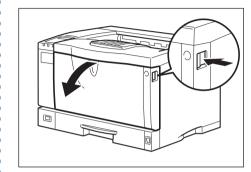
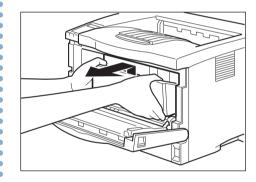
推奨上質紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉は印刷品質に影響を与えることがあります。ここではレジストローラー周辺の紙粉を清掃します。

注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

注 意

レジストローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行なってください。やけどの原因になります。

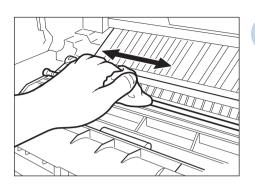
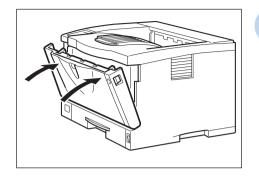
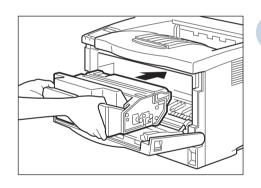
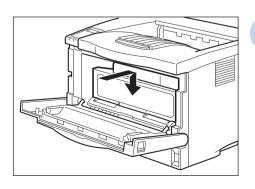
1 プリンタの電源を切ります。

2 フロントカバーオープンボタンを押してフロントカバーを開けます。

3 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

補足

- ドラムトナーセットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ドラムトナーセットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

4 金属製のレジストローラーの位置を目安に、水を固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉を拭きとります。

重要

アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

5 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。

6 奥に突き当たったところで、ドラムトナーセットを押し下げます。

7 フロントカバーを閉めます。

重要

ドラムトナーセットが奥まで正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まりません。そのときはドラムトナーセットを一度取り出し、セットし直してください。

8 プリンタの電源を入れます。

5.8 定期交換部品について

本プリンタの定期交換部品（摩耗などにより機能低下する部品）の種類と、一般的な使用方法※での交換目安は以下の通りです。これらの部品が摩耗すると、「紙詰まりが多くなる」「斜めに印刷される」「印刷面または裏面に黒スジが印刷される」等の症状が多発するようになります。このようなときはお買い求めの販売店または、お近くのカシオテクノ・コールセンター ☞（66ページ）にお問い合わせください。

定期交換部品	交換目安
●定着ユニット ●転写ローラ ●給紙コロ ●フリクションパット	9万枚

※ 一般的な使用方法とは以下の条件を想定しています。

① 平均通電時間は1日8時間
② A4サイズ横送り
③ 1ヶ月に2000枚印刷
④ 弊社推奨普通紙（リコータイプ6200）を使用
⑤ 1回の印刷でA4用紙を3枚印刷
⑥ 環境は常温・常湿
⑦ 使用期間45ヶ月以内

ただし、お客様の使用形態により異なりますので、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

5.9 お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・
というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印刷）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。

http: //www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00。
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-03306

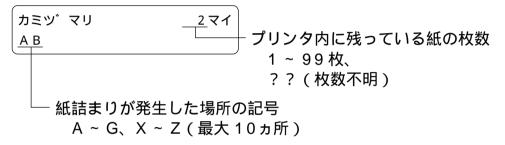
市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）
※携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

6. 紙詰まりの処置

6.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所
A	本体カセット、マルチペーパフィーダ給紙部、本体内部
B	本体排紙部
C	2 段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
D	3 段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
E	シフトトレイ排紙部
F	4 ビンプリントトレイ排紙上部
G	4 ビンプリントトレイ排紙下部
X	両面印刷ユニット入口部
Y	両面印刷ユニット反転部
Z	両面印刷ユニット出口部

用紙が詰まった場所（A～G、X～Z）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

冒頭の表示例では、本体カセット→本体排紙部の間に 2 枚の紙が詰まっている事を示しています。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。

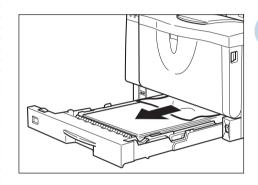
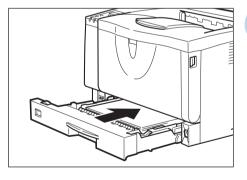
何度も用紙が詰まるときは、以下の原因が考えられます。
- 用紙サイズダイヤルの設定と、セットした用紙のサイズ・方向が合っていない。
- フリクションパッドや給紙コロが汚れている。

「5.5 フリクションパッドの清掃」（59 ページ）
「5.6 給紙コロの清掃」（60 ページ）

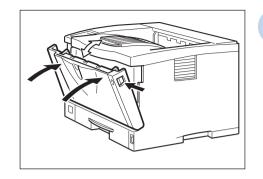
上記の内容を確認した上でも用紙が詰まるときはお近くのカシオテクノ・コールセンター（66 ページ）に連絡してください。

6.2 カセット内の紙詰まり（カミヅマリA, C, D）

（表示例）

```
カミヅ゛マリ              1マイ
A
```

1 ペーパカセットを少し持ち上げてから止まるまで引き出し、詰まった用紙を取り除きます。

2 ペーパカセットを本体にゆっくりとセットします。

重要

ペーパカセットを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

3 **フロントカバーを一度開けて、閉めます。**

重要

拡張ペーパフィーダに用紙が詰まったときも同様に取り除きます。もし用紙が上下のカセットの間で詰まったときは、必ず下のカセットを開けて用紙を引き抜くようにします。

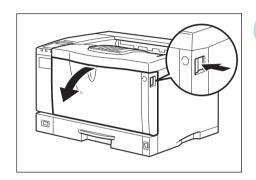
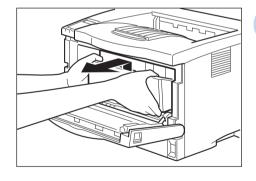
カミヅマリ C：2 段目カセット給紙部
カミヅマリ D：3 段目カセット給紙部

補足

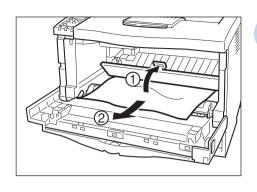
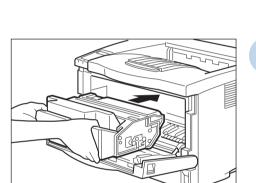
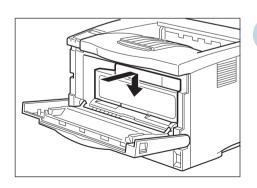
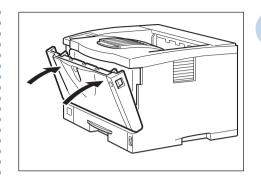
- フロントカバーの開閉を行なわないとエラーは解除されません。

6.3 本体内部の紙詰まり（カミヅマリ A, B）

（表示例）

```
カミヅ゛マリ            1マイ
B
```

1 **フロントカバーオープンボタンを押してフロントカバーを開けます。**

2 **ドラムトナーセットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。**

補足

- ドラムトナーセットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。
- ドラムトナーセットは、斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

3 トナーが手に付着しないように、ガイド板を起こし（①）用紙の両端を持って内部から詰まった用紙を取り除きます（②）。

4 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。

5 奥に突き当たったところで、ドラムトナーセットを押し下げます。

6 フロントカバーを閉めます。

重要

マルチペーパフィーダから印刷しているときに「カミヅマリ A」が表示されたときは、マルチペーパフィーダにセットしてある用紙を一度取り除いて、いったんマルチペーパフィーダを閉めてからフロントカバーを開閉させてください。

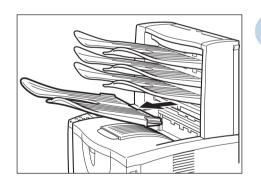
7 「カミヅマリ B」が表示されたときは、さらに次ページの ☞「6.4 排紙口の紙詰まり（カミヅマリ B）」に従って詰まっている用紙を取り除いてください。

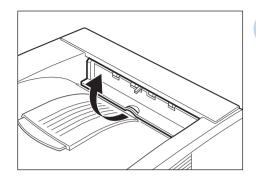
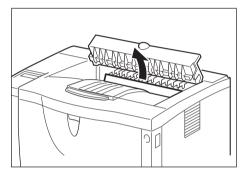
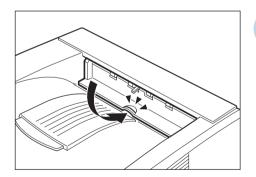
6.4 排紙口の紙詰まり（カミヅマリ B）

（表示例）

カミヅ゛マリ　B	2マイ

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

1 シフトトレイを取り付けているときはトレイ（上トレイ）を、4ビンプリントトレイを取り付けているときは一番下のトレイ（トレイ1）を取り外します。

イラストは4ビンプリントトレイの例です。

2 排紙カバーを開けます。

3 用紙を取り除きます。

4 排紙カバーをカチッと音がするまで押し戻します。

6.5 両面印刷ユニット内の紙詰まり（カミヅマリX, Y, Z）

（表示例）

カミヅ゛マリ	2マイ
Y	

両面印刷ユニットに詰まった用紙を取り除きます。

⚠ 注 意

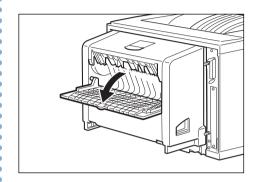
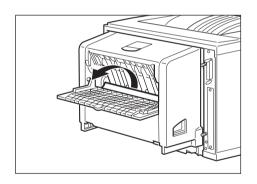
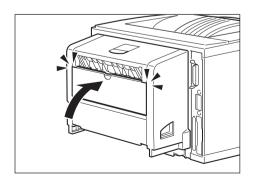
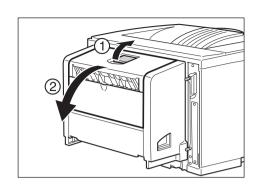
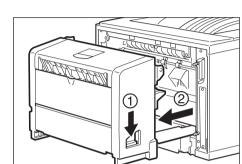
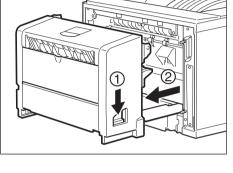
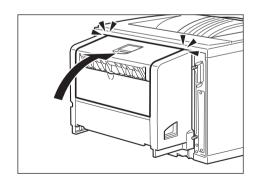
プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、両面印刷ユニット内部に紙片が残る可能性があります。

補足

- 両面印刷できる用紙は以下の範囲のものです。
  紙　種：普通紙（64〜105g/m²）
  サイズ：A3、B4、A4、B5、A5、レター、
  不定形（182〜297mm×148〜432mm）

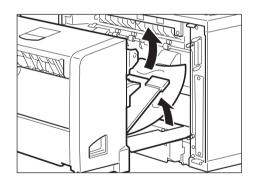
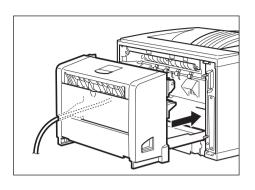
1 カバー内部の用紙を取り除きます。

1. 両面印刷ユニットリアカバーを開けます。

2. 両面印刷ユニットリアカバーの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

3. 両面印刷ユニットリアカバーを閉めます。

4. レバーを引き上げて（①）、両面印刷ユニットカバーを開けます(②)。

5. 両面印刷ユニットカバーの内部に詰まっている用紙を取り除きます。

6. 両面印刷ユニットカバーを閉めます。

   詰まった用紙をすべて取り除けた場合は、エラーメッセージの表示が消えます。エラーメッセージの表示が消えない場合は、手順2へ進んでください。

2 両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出して、用紙を取り除きます。

1. 両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

2. ガイド板を起こして用紙を取り除きます。

重要

A5の用紙については、両面印刷ユニットを引き出しても用紙が取り除けないことがあります。この場合は反対側の本体ペーパカセットを引き抜いて、用紙を取り除いてください。

3. 電源ケーブルを両面印刷ユニット側面の溝に沿わせて、両面印刷ユニットをプリンタ本体にしっかりと押し込みます。

エラーメッセージが消えない場合は、本体内部に用紙が残っている可能性があります。本体内部に詰まった紙がないか確認してください。

「6.3 本体内部の紙詰まり」（70ページ）

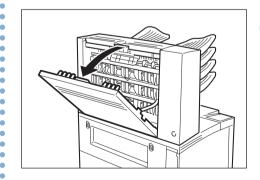
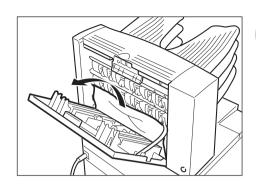
6.6 4ビンプリントトレイ内部の紙詰まり（カミヅマリF, G）

（表示例）

```
カミヅ゛マリ          1マイ
F
```

4ビンプリントトレイに詰まった用紙を取り除きます。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、4ビンプリントトレイ内部に紙片が残る可能性があります。

1 プリントトレイカバーを開けます。

2 **用紙を取り除きます。**

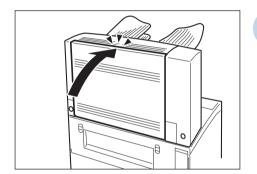
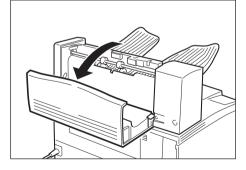
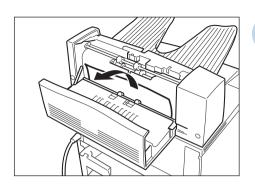
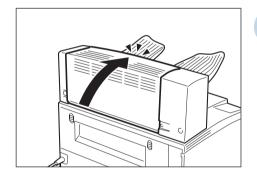
3 **プリントトレイカバーを閉めます。**

6.7 シフトトレイ内部の紙詰まり（カミヅマリ E）

（表示例）

カミヅ゛マリ	2マイ
E	

シフトトレイに詰まった用紙を取り除きます。

重要

詰まった用紙を勢いよく引っ張ると用紙が破れ、シフトトレイの内部に紙片が残る可能性があります。

1 **シフトトレイカバーを開けます。**

2 **用紙を取り除きます。**

3 **シフトトレイカバーを閉めます。**

7. ドラムトナーセットの交換

⚠ 警 告

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器や感光体ユニットを火中に投入しないでください。
トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周囲には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠ 注 意

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠ 注 意

レジストローラー周辺の清掃は、プリンタの電源が切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行なってください。やけどの原因になります。

⚠ 注 意

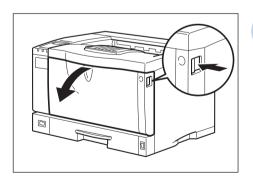
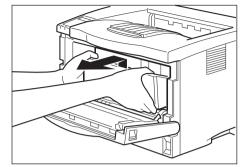
ドラムトナーセット等の消耗品や部品は、カシオ指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、カシオ指定のドラムトナーセット、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はお近くのカシオテクノ・コールセンター ☞ （66ページ）に相談してください。

重要

フロントカバーを開けたまま長時間放置しないでください。ドラムトナーセットは、長時間光に当てると性能が低下します。ドラムトナーセットの交換は速やかに行なってください。

補足

- ドラムトナーセットを斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。
- 交換用ドラムトナーセットの印刷可能ページ数は、目安として約15,000ページです。
  この印刷可能ページ数はA4 5%チャートを印刷した場合の目安で、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。ドラムトナーセットは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

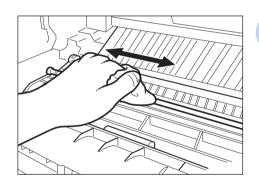
1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **フロントカバーオープンボタンを押してフロントカバーを開けます。**

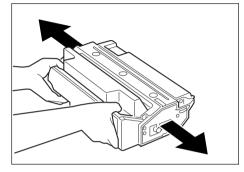
3 **ドラムトナーセットの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。**

補足

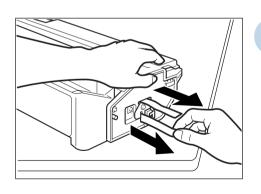
- ドラムトナーセットを置くときは、机などの平らで突起物などのない場所を選んでください。

4 **金属製のレジストローラーの位置を目安に、水を固く絞った布でレジストローラー周辺の紙粉を拭きとります。**

重要

アルコールや洗浄剤などは使用しないでください。

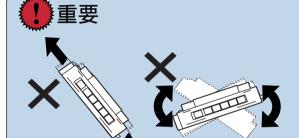
5 新しいドラムトナーセットを梱包箱から取り出します。

6 水平に 7 〜 8 回程度振り、中のトナーが片寄らないように均一にします。

補足

- ドラムトナーセット内でトナーが片寄ると、印字面に汚れが発生します。

7 ドラムトナーセットを水平な場所に置き、片手を添えながらトナーシールを水平に引き抜きます。

重要

ドラムトナーセットを傾けてトナーシールを抜かないでください。

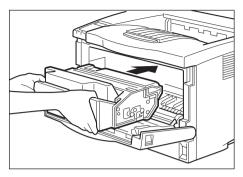
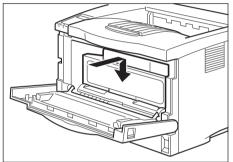
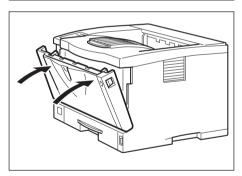
重要

ドラムトナーセットを傾けて振らないでください。

重要

トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを引き抜いてから使用してください。

トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くとトナーがこぼれやすくなる原因になります。

手や衣服を汚さないように注意してください。

トナーシールを引き抜いたあとは、トナーがこぼれやすくなっています。ドラムトナーセットを振ったり衝撃を与えないようにしてください。

8 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部に押し込みます。

9 奥に突き当たったところで、ドラムトナーセットを押し下げます。

10 フロントカバーを閉めます。

重要

ドラムトナーセットが奥まで正しくセットされていないと、フロントカバーが閉まりません。そのときはドラムトナーセットを一度取り出し、セットし直してください。

カシオは地球環境保護のためドラムトナーセットの無料回収を行なっています。詳しくはオプションのドラムトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。やむを得ず、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従ってください。

11 プリンタの電源を入れます。

付録1. 主な仕様

項目＼形式			CP-E8000
形式			デスクトップ型
プリント方式			レーザービームヘッド＋乾式電子写真方式
解像度			1,200dpi/600dpi/300dpi
スムージング			2,400dpi相当×600dpi(600dpi時)
プリント速度 (本体カセット給紙、 片面印刷、コピーモード時)			26枚/分(A4横) 16枚/分(B4縦)、15枚/分(A3縦)
用紙	種類	普通紙	カセット給紙：60～105g/m^2 MPF給紙　：52～162g/m^2
		特殊紙	MPF給紙　：ラベル紙、OHPフィルム、官製ハガキ、封筒
	サイズ		カセット給紙：A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横 MPF給紙　：幅90mm～305mm、長さ148mm～900mm
給紙方式 容量 ※1	標準		カセット給紙：普通紙(64g/m^2) .... 250枚 MPF給紙　：普通紙(64g/m^2) ..... 100枚(A4横まで) ハガキ .... 40枚 封筒、OHPフィルム、ラベル紙..... 25枚 長尺紙 1枚
	オプション		拡張ペーパフィーダセット　：500枚(64g/m^2)×2段

※1　MPFで給紙できる普通紙は、高さ11mm以下です。また、カセットで給紙できる普通紙は250枚カセットで高さ28mm以下、500枚カセットで高さ56mm以下です。

項目　形式		CP-E8000
排紙方式：容量		メイン排紙トレイ　：250枚(64g/m^2) シフトトレイ　　　：250枚(64g/m^2) 4ビンプリントトレイ：200枚(50枚×4ビン)
両面印刷		普通紙(64～105g/m^2) A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横、不定形(182～297mm×148～432mm)
ウエイト時間		20秒以内(室温20℃、定格電圧時)
ファーストプリント時間		7秒以内(1段カセット給紙、A4横)
使用環境※2	動作時	温度：10～32℃、湿度：15～80%RH(結露なき事)
	非動作時	温度：0～43℃、湿度：10～90%RH(結露なき事)※3
稼働音※4	プリント時	53dB以下(本体正面)、58dB以下(全方向)
	待機時	35dB以下(本体正面)
使用電源		AC100V±10%　50/60Hz
消費電力		最大：820W以下、スリープ時：20W以下
外形寸法(W×D×H)		468mm×437mm×305mm(カセット縮小時) 468mm×575mm×305mm(カセット延長時)
本体重量		約16kg　(消耗品を除く)
妨害波規格		VCCIクラスB情報技術装置に適合

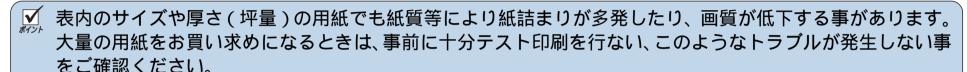
※2　温度30℃以上は湿度70%以下でご使用ください。
※3　−5～5℃／35～40℃環境に、通算20日以上の放置は避けてください。
※4　断続的な尖頭ピーク値は除く。

項目 ＼ 形式		CP-E8000
消耗品		平均15,000枚(A4横、黒化率5%、連続印刷、常温常湿) ※プリンタ購入時に同梱のドラムトナーセットは平均6,000枚です。
本体耐久期間		5年または60万枚のいずれか早い方
インターフェイス		パラレルインターフェイス×1(IEEE 1284/ECPモード対応※5) インターフェイス拡張スロット×1（拡張パラレルI/FボードまたはLAN I/Fボード用）
CPU		64bit RISC R4310 (167MHz)
システムRAM	標準	32MB
	オプション	64MB/128MB(最大160MB：32MB＋128MB)
制御コード体系		(ESC/P･ESC/Page･201H)＋カシオ拡張コマンド
内蔵フォント		平成明朝体、平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B

※5　パソコン側のパラレルインターフェイスがECPモードに対応している必要があります。

付録2. 用紙について

■使用できる用紙について

普通紙 一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷を行なうためには、次表のような弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

<table>
<tr><th rowspan="2">サイズ</th><th rowspan="2" colspan="2">推奨用紙名</th><th colspan="2">使用可能坪量(g/m^2)</th></tr>
<tr><th>ﾍﾟｰﾊﾟｶｾｯﾄ</th><th>ﾏﾙﾁﾍﾟｰﾊﾟﾌｨｰﾀﾞ</th></tr>
<tr><td>A3
B4
A4
B5</td><td>リコー
リコーNBS
リコーNBS
富士ゼロックス
王子製紙</td><td>タイプ6200
マイペーパー
紙源タイプS(再生紙)
L紙
ホワイトやまゆり(再生紙)</td><td rowspan="3">60～105</td><td rowspan="3">52～162</td></tr>
<tr><td>A5</td><td>リコー
富士ゼロックス</td><td>タイプ6200
L紙</td></tr>
<tr><td>レター</td><td>リコー
リコーNBS</td><td>タイプ6200
マイペーパー</td></tr>
</table>

長尺紙

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
長尺印刷用 上質紙	297×900mm 297×600mm	大昭和製紙　しらおい (128g/m²、157g/m²)

ポイント **裁断が直角でない用紙や裁断面にバリがある用紙および、長さに対して幅が極端に狭い用紙（90×900mm等）は斜め送りなど給紙不良の原因になりますので使用できません。**

特殊紙

＜OHP フィルム＞

OHPフィルムは、次表の弊社推奨のOHPフィルムをご使用ください。また、OHPフィルムは、マルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは OHPフィルム（35ページ） を参照してください。

種類	サイズ (mm)	推奨用紙名 (商品コード)	給紙装置
OHPフィルム	A4 (210×297)	XEROX　P/N V516 リコー　OHP DX	マルチペーパフィーダ 給紙容量　25枚

注 意

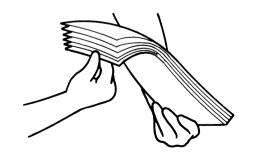
OHPフィルムは上記推奨のOHPフィルムをご使用ください。その他のOHPフィルムを使用すると定着器に巻き付くなど故障の原因になる事があります。特にインクジェット用のOHPフィルムは使用できません。
また、OHPフィルムに印刷するときはOHPモードで印刷してください。 **OHPフィルム（35ページ）**

＜ラベル紙・ハガキ・封筒＞

ラベル紙・ハガキは次表の弊社推奨の用紙をご使用ください。また、これらの特殊紙はマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは ☞ ラベル紙(35ページ)、官製ハガキ(35ページ)、封筒(36ページ)を参照してください。

種類	サイズ (mm)	推奨用紙名 (商品コード)	給紙装置
ラベル紙	A4 (210×297)	リコーハクリ紙　タイプSA XEROX　P/N V860 XEROX　P/N V862	マルチペーパフィーダ 給紙容量　25枚
ハガキ	通常 (100×148)	官製ハガキ	マルチペーパフィーダ 給紙容量　40枚
封筒	長形3号 (120×235) 長形4号(90×210) 羽衣洋形1号(120×176) LIFE洋形4号	ハート(株) ケント紙80g/m^2長形3号 ハート(株) ケント紙80g/m^2長形4号 ハート(株) 羽衣洋形1号 LIFE　E506B	マルチペーパフィーダ 給紙容量　25枚

特殊紙使用上のご注意

- ラベル紙・ハガキはカールがないものをご使用ください。
- 封筒はシワが発生する事があります。
- 特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣る事があります。
- 特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。

シフトトレイ 4ビンプリントトレイ (オプション)

シフトトレイまたは4ビンプリントトレイに使用できる用紙は以下の範囲の用紙です。

種類	サイズ	厚さ
普通紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター	60～105g/m²

両面印刷 (オプション)

両面印刷に使用できる用紙は以下の範囲の用紙です。
それ以外の用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。

種類	サイズ	厚さ
普通紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター 不定形サイズ 幅　：182～297mm 長さ：148～432mm	64～105g/m²

用紙保管上のご注意

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙詰まりや画質不良の原因となります。用紙は、以下の事に注意して正しく保管してください。

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどがつかないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

■使用できない用紙について

下記のような普通紙や特殊紙をお使いになると、紙詰まり・画質低下や故障などの原因となりますので使用しないでください。

- カラーインクジェット用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 本プリンタや他のプリンタで一度印刷された用紙
  （両面印刷装置による両面印刷は可）
- コピー機で印刷済みの用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、ノリのついた用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- 熱で変質するインクを使って印刷されている用紙、変質しやすい用紙
- 感熱用紙
- カーボン紙
- 酸性紙（酸性紙を長期間ご使用になると、ドラム表面が劣化して印刷がうすくなります。）
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 凹凸や留め金や透明な窓のある封筒
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙

×使用できません

ツルツルした台紙

○使用できます

全面ラベル紙

付録3. プリンタを運ぶとき

⚠ 注 意

プリンタは消耗品やオプション類を取り外しても約16kgあります。

プリンタを移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

長距離を移動するときは、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・コールセンター ☞（66ページ）に相談してください。

⚠ 注 意

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注 意

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

● 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本機を日本国外に移動させた場合は、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

近くに移動するとき

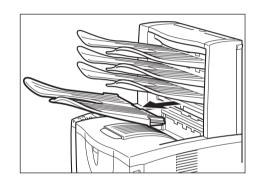
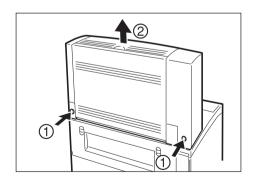
1 **プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

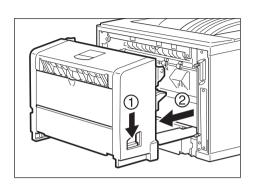
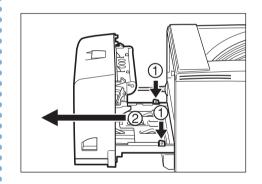
2 **インターフェイスケーブルを取り外します。**

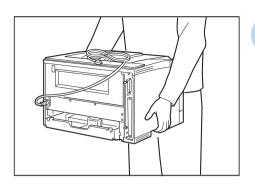
3 **外部オプションを取り付けている場合は全て取り外します。**

シフトトレイ / 4ビンプリントトレイを取り付けているとき

補足

- イラストは4ビンプリントトレイの例を示しています。

1. 上トレイをすべて引き抜いて外します。

2. ロックボタンを押しながら(①)ユニットを上に引き抜きます(②)。

両面印刷ユニットを取り付けているとき

1. 両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

2. 両面印刷ユニット底板のレバーを押して(①)両面印刷ユニットを本体から引き抜きます(②)。

4 **マルチペーパフィーダ、フロントカバーがきちんと閉まっていることを確認します。**

5 **プリンタ前面が手前にくるようにして本体両サイド下部の取っ手を持ち、移動します。**

重要

移動の際は、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。

拡張ペーパフィーダを取り付けているときは、プリンタ本体と拡張ペーパフィーダは固定されていないので別々に移動してください。また、プリンタ本体を持ち上げるとき、拡張ペーパフィーダから確実に離れていることを確認してください。

遠くに輸送するとき

プリンタを購入時の箱に入れて輸送してください。

重要

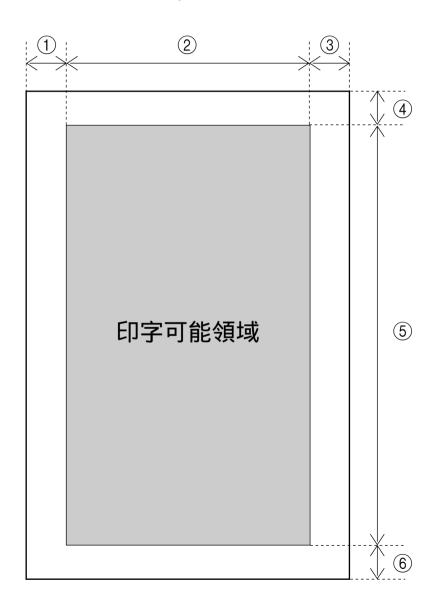
ケーブル類はすべて取り外します。

ドラムトナーセットはプリンタ内部を汚す恐れがありますので、プリンタ本体から取り外してください。

☞ (78 ページ)

精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

付録4. 印字領域

各用紙サイズにおける最大印字可能領域は以下の通りです。

（単位：mm）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	5.0	287	5.0	5.0	410	5.0
B4	5.0	247	5.0	5.0	354	5.0
A4	5.0	200	5.0	5.0	287	5.0
B5	5.0	172	5.0	5.0	247	5.0
A5	5.0	138	5.0	5.0	200	5.0
Letter (LT)	5.0	206	5.0	5.0	269	5.0
ハガキ	5.0	90	5.0	5.0	138	5.0

（単位：ドット　1200dpi時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	240	13552	240	240	19360	240
B4	240	11664	240	240	16720	240
A4	240	9440	240	240	13552	240
B5	240	8120	240	240	11664	240
A5	240	6512	240	240	9440	240
Letter (LT)	240	9720	240	240	12720	240
ハガキ	240	4244	240	240	6512	240

（単位：ドット　600dpi時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	120	6776	120	120	9680	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
Letter (LT)	120	4860	120	120	6360	120
ハガキ	120	2122	120	120	3256	120

（単位：ドット　300dpi時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	60	3388	60	60	4840	60
B4	60	2916	60	60	4180	60
A4	60	2360	60	60	3388	60
B5	60	2030	60	60	2916	60
A5	60	1628	60	60	2360	60
Letter (LT)	60	2430	60	60	3180	60
ハガキ	60	1061	60	60	1628	60

付録5. メモリ全般について

本プリンタは標準で 32MB のメモリを持っています。
本プリンタの優れた機能をご使用していただくためにメモリの増設をすることができます。

増設用メモリモジュール（オプション）

本プリンタは、メモリを増設するために、64MB/128MBの増設用メモリモジュールのいずれか１つを搭載することができます。（最大 160MB）
それぞれの型番については、下表を参照してください。

品　名	型　番
増設用メモリモジュール(64MB)	CP-SDR64M
増設用メモリモジュール(128MB)	CP-SDR128M

★ 本プリンタは標準メモリ（32MB）でご使用いただけますが、連続印刷時の快適な印刷速度を確保するために、メモリを増設することを推奨します。また、オプション装置を接続した場合や印刷するデータによっても、メモリ増設することにより印刷速度が向上する場合があります。メモリサイズのガイドラインは以下の通りです。

	片　面		両　面	
	600dpi	1200dpi	600dpi	1200dpi
B5	標準(32MB)	標準(32MB)	標準(32MB)	+64MB(計96MB)
A4	標準(32MB)	標準(32MB)	標準(32MB)	+64MB(計96MB)
B4	標準(32MB)	+64MB(計96MB)	標準(32MB)	+64MB(計96MB)
A3	標準(32MB)	+64MB(計96MB)	標準(32MB)	+64MB(計96MB)
長尺紙	標準(32MB)	+64MB(計96MB)		

付録6. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について

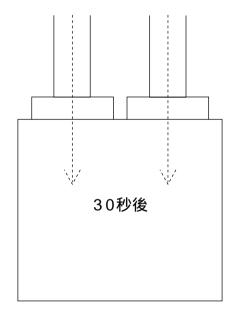
本プリンタは、標準で１口（セントロニクス）のインターフェイスを装備していますが、オプションの「LAN I/F ボード（CP-NW100SP)」や「拡張パラレル I/F ボード（CP-P107)」を増設することにより、合計２口のインターフェイスが使用できます。
ここでは、２口のインターフェイスを使用した際の運用について説明します。

インターフェイスの自動切り替え

本プリンタにオプションのLANボードなどを接続し、２口のインターフェイスを使用した場合（つまり受信口を２つにした場合)、２つのインターフェイスからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェイスからのデータを印刷します。

現在、受信しているインターフェイスからの印刷が完全に終了した後、タイムアウト時間を経過すれば、他方のインターフェイスもデータ受信可能となります。

タイムアウト時間は、リファレンスマニュアルの「メニュー設定」の「I/F設定」→「H0タイムアウト」の項目で設定できます。☞ リファレンスマニュアル「H 0 タイムアウト」（2 6 ページ）

例）タイムアウト時間を 30 秒に設定した場合

標準パラレルI/F 側 ① からデータ受信を行ない、処理データがなくなり、30 秒間経過した後、両方のインターフェイス ①② が受信待ちになります。

※ ECP（1284準拠の双方向通信）機能は標準パラレルインターフェイス側のみ使用できます。オプションのパラレルインターフェイス側では使用できませんのでご注意ください。

付録7. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術(メカトロニクス)および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。

次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7) 「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項(お買い上げ日など)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ・コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口として最寄りの ☞ カシオテクノ・コールセンター(66ページ)をご利用ください。

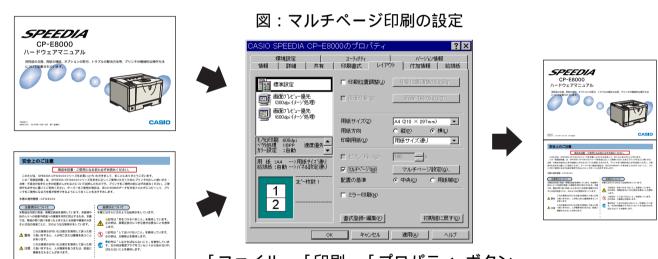
付録8. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

印刷方法

本マニュアルはパソコンの画面で見やすいようにA4横でレイアウトされています。このまま印刷すると、パソコン画面と同じ様に１枚の用紙に１ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

本プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、１枚の用紙に２ページずつ印刷できます。

図：マルチページ印刷の設定

「ファイル」→「印刷」→「プロパティ」ボタン
「レイアウト」タブ画面

プリンタドライバのレイアウト画面で、図のように「用紙サイズ」をA4「用紙方向を」横にして、「マルチページ」を選択（☑）すると、左のページレイアウト表示が図のようになり、１枚に２ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択（☑）しておいてください。）

☑ポイント **オプションの両面印刷装置を装着しているプリンタであれば、図の画面で「両面印刷」を選択（☑）すると、さらに用紙の節約になります。**

キーワードによる検索方法

本マニュアル内の調べたい項目を探すときは検索機能をご利用ください。

●検索の方法

（1） ツールバーの ボタンを押すと、検索ダイアログが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンを押してください。

（2） 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

付録 9. CP-NW200T LAN I/F ボードの設定方法

CP-NW200Tをプリンタに取り付けると、プリンタの設定メニューに以下の設定項目が追加されます。設定メニューの詳細は☞リファレンスマニュアル「3.2 設定メニュー一覧」（13 ページ）を参照してください。

CP-NW200TのIP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定はプリンタの操作パネルから以下の手順で設定します。

〈パネル表示〉		〈ボタン操作〉
オフライン	①	オンラインボタンを押してオフラインの状態にします。 （オンラインのランプが消えます。）
HO　タイムアウト ▼▲　＊　30ビョウ	②	メニューボタンを 8 回押します。 （＊は現在セットされている内容です。）
H8　IP　Address ＊000.000.000.000	③	項目ボタンを 8 回押し、IP Address の設定にします。 （＊は現在セットされている内容です。）

```
H8 IP Address
 19_.000.000.000
```

④ ▼ ▲ ボタンを押して、数値を変更します。
また、ユーザー ボタンで桁が変わります。

```
H8 IP Address
*192.168.001.001
```

⑤ 最後の桁まで入力したら、実行 ボタンを押すと、全桁がセットされます。

```
H9 Netmask
*000.000.000.000
```

⑥ 項目 ボタンを押して、サブネットマスクの設定に進み、以降 ④ ～ ⑥ の操作を行います。
ゲートウェイも同様に ④ ～ ⑥ で設定します。

⑦ オンライン ボタンを押して、通常に戻します。

⑧ 最後にLANボードのリセットスイッチを押すか、プリンタ本体の電源スイッチを再投入してください。
※このときに新しく設定した内容が有効になります。

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

CP-E8000
ハードウェアマニュアル

2004年1月20日　第6版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

© CASIO COMPUTER CO., LTD.
© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO.,LTD.